

よく「青い芝」ってどんな事をする会員ですか？ 会の目的は何ですか？ と質問されます。こう質問する方の中に、一年も二年も前から会員である人が少なくありません。これは広報活動の至らなさも原因の一つでしょ、うが、根本的には、一般会員と役員との間にみぞがあり、一つになつていなければなりません。では、「みぞ」はなぜ出来るのでしょ、うか？ それは役員が役員の考え方で行動しているからです。勿論役

でよく「青い芝」ってどんな事をする会員ですか？ 会の目的は何ですか？ と質問されます。こう質問する方の中に、一年も二年も前から会員である人が少なくありません。これは広報活動の至らなさも原因の一つでしょ、うが、根本的には、一般会員と役員との間にみぞがあり、一つになつていなければなりません。では、「みぞ」はなぜ出来るのでしょ、うか？ それは役員が役員の考え方で行動しているからです。勿論役

「青い芝」の会も受領

公報部長 田 村 公 一

員としては会員一人一人の事を考えて行

動していますが、会員が実際に何を望ん

でいるかどんな考

えを持つているか

を知らないければ、

会員のためになる

行動はできません。

青い芝の会はあ

たたの考えを実現

するための会です。

役員はあなたの意

見を実行に移すた

めの代表者です。

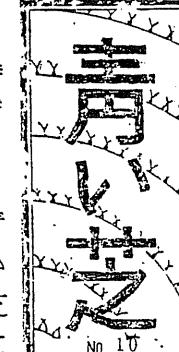
ですからもしあな

たが何の意見も持

たなかつたり、ま

た持つていても差表しなかつたりしたら

自分でプラスすることでないのにけ落そ



発行所 大田区雪ヶ谷七五二 青い芝の会
印刷所 大田区調布競町二十丁目三一
編集責任者 オール事務器 田 村 公 一

85-8-30

特集 青い芝にのそむこと

なぜ特集したのでしよう？

それはあなたの会だからです

共同作業所への前提

嫉妬心をなくそう

金 沢 恭

「障害者同志つて何故こうなんだろう

ある友がこう前置きして次の様な話を

した。彼は今できている某所の障害者ば

かりでやつてある共同作業所で働いてい

る。障害者だけで運営している作業所、

そこには常に和があり、助け合いがあり、

我々障害者の理想郷が生れるだろうと誰

でも一応はそう思うだろう。しかし現実

はとももない、そこについたものは汚

らわしい人間の一断片が醜くさらけ出さ

れているだけの所だった。そこには一片

の協力するらない、唯あるものは我と我

の衝突である。そして妬である、嫉妬で

ある。他人が一寸でも自分より良い思い

をしていれば氣に入らない。それで何ら

うとやつぎになる。これこそ人間の悲しむべき一面であり、弱い人間の犯し易い犯罪である。

今迄わたしはこれに類した事を幾度か耳にした。そして又、私自身大きな被害を受けた事がつた。友であるべき人間から……。羨望は嫉妬となり、嫉妬はやがて行為となつて現れる。

ひどい、ひどい。更生した者は更生しない者のために金を使うべきだ、と寝たきりになつてゐるある友が云つた。そんな論法が一体どこにある。勿論、更生した者がベットの上にいる友を助けるのは美しい、望ましい事である。が、それを本人の口から要求される時、わたしは吐き出したいような悪感がした。嫉妬はついにこゝ迄来てしまつた。

他人の幸を妬み、倒れる事を喜ぶ。こんな事は一日も早く止めたい事だ。本当に互いの喜びを喜び、悲しみを悲しみ合つて一致協力、助け慰め合つて生きて行こう。

嫉妬、これが我に何の利となろう。自分自身を慘にするだけではないか。嫉妬心などスパツと川に棄て、大きく大きく胸を張つて、清く美しく生きよう。

一九六〇年の年頭に際し、青い芝の会が我々の中から醜い嫉妬心を取り去る運動を強力に押し立てゝやつてくれる事を

「会員として強く望むものである。

編物科員として 木下金雄

小生、現在『青い芝』更生部で編物の授産を受けています。青い芝の将来について何か書けといふ事ですが、当会に対する希望は有りすぎる程有り、どれも是れも皆大き過ぎてとても実現出来そうにも有りませんので、編物科の一員として、更生部を中心の当会でも近い将来実現出来る事を對する小生の考え方述べ、会員諸氏の御批評を仰ぎたいと思ひます。

編物は今世田谷の伊藤先生の剣道場二階を拠借してやつています。この様な場所を無償で貸して下さる事を伊藤先生に深く感謝致していますが、難を云ひますとちよつと都心から離れていると云う事です。それで、現在の小生の最も大きな願いであり編物科員全員が希望している事は、今の場所を新宿とか渋谷とかもつと交通の便利な都心部へ移転する事です。若しそれが実現したら、編物科の人員を現在の二、三倍に増員し、これによつと無理かもしれないがミシン一台求め、洋裁も同じ所で習えるようにします。そして一、二年間はみつかり技術の習得に努めると共に、大いにP.Rを行います。技術も大いに上り先生に教わらなくとも何とかやれる様に成つたな

らば、注文を取る人は注文を、製図をする人は製図を、編む人は編むだけという様に分業にして、どんどん大量に生産します。勿論洋裁の方も同じ要領で行います。或いは、どこか大口の所から注文を受けても良いでしよう。そしてその頃にはミシンも四、五台欲しいものです。その頃になつてもやはり今と同じように編賣又は縫製の二割を積立て置き、是れを授産所建立の基金に振り向けてます。更に編物や洋裁ばかりでなく、どこか広い庭園を身につけさせるべきだと思います。竹細工などしても良いと思ひます。

とにかく角青い芝は手広く事業を行ひ、なるべく多くの会員にその個性に合つた職業を身につけるべきだと思います。

このようにして皆が真剣に技術の習得に努め、大いにP.Rして行けば、我々青い芝の会員の大半の念願である総合授産所の設立も、決して不可能ではないばかりか、そう遠い夢とも思ひません。これが小生、否、現在の編物科員の青い芝に対する極めて現実的な夢であり希望であります。今いる編物科員はこの様な希望を胸に抱き、その土台にならうと、本当に剣になつて技術の習得に励み、外交に足を運んでいます。勿論授産所が出来た暁には現在の編物科員はその指導者となつて大いに活躍出来るものと思いま

す。身障者として今后社会に残されるものは、脳性マヒ、切断者及び脊柱損傷者は、専門家のために日本語で書かれた単行本がまだ一冊もない位の現状からしてみてもその一端は判るだろう。(尤も東京の療護園での研修のあと昨年一月にプリントで出された香川の「ひかり」整肢学園長寺沢氏の『脳性麻痺の訓練療法について』と、今月初旬に原元出版から出了整肢療護園副園長小池先生と小生の共著『脳性・脳性小兒麻痺』があが……)前説が長くなつた。青い芝よ、大いに人数を集めたまえ。そして金を何とかして集めたまえ。協会を作りたまえ。そして医学、教育、心理の各専門家グループによる正しい指導法のP.Rにうんと金を使いまえ。体験記もよからう。それも出来れば何故、そういう結果に終つたについての専門家の解説をつけた、読めばす

私たち会員は一致団結して、青い芝の行く手に待つてゐるであろう数々の困難を乗り越えて行きましょう。そして喜びも悲しみも、苦しみも共に分ち合いお互いに助け励まし合つて強く生きましょう。青い芝の様に踏れても踏れても、

青い芝の芽が出て来ました。私はなどが希望など申すのは軽率とは思いましたが、一寸私の希望を申します。昨年六月の杉並身障者慰安会の後で、田村君から「小間物を車で売つて歩いてみたいが」と云われたので、その時はやつてもいゝと云つたものの後でよく考えてみると、私たちの仲間では足の不自由な方ばかりなので無理だと思い、翌日お会いした時、「やるのはいいが私たちにはこの仕事は一寸無理だと思う、でもやるなら出来るだけ応援します」と申して分れましたが、その後お会してもその事について何も申されないので、やらなかつたのでしよう。しかし、田村君の更生したい意気は大切だと思つていて、私たちには親睦が大切なものであることは申す迄もありませんが、この会が親睦だけでは意義がないように思われます。

人間はどんな立派な人でも一人だけで生きていかれない様に、特に私たちの

場合に限らず、バスで運んでいた人の助けを

りないことを誰か言えない人が多いと思われます。しかし、どんな体であつても一人一人が力を合わせて協力する仕事を、見出さなければならぬのです。

この前、山本先生が、私たちの様な体でも飛び得る夢がある、と申されたが、志たちはその夢を一人一人勇敢に青々と達成していかなければなりません。

けれども、私達は自身の力だけでは、延びられないのです。筆馬が鷹島によつてやがて立つて行く間に、私は多くの方々の御指導を受ける事によつて、伸びる力を得たるのではありませんか。そ

してそれは、一人一人の心の問題にかゝります。私が運営によつて、人生の結晶がいると思いますが、私はこの世に生きて行く限り、どんなつまらない事でも、気をむぎさせるために一心に耐え忍んで努力して行きたいと思います。私達が生きている間に、笑をむしばせる事ができなくて、これからこの世に出て、との病で苦しむ方々のために、それを残して行きたいと願っています。

それ故に農業振興課所を作ることですが、初めから理窟抜けてお詫びするだけ、不可能な事は思はずあります。初めは

一二人でやれる所をやるために、一人一人

歩く事よりはかにありませんでした、そして三十五年になる現在ではお父さんは

年をとり働く事は出来ませんが近藤さんはご飯をたいたり、ふどんのあげおろしは出来ないので家事一切をお父さんが

やらなければならぬのです。その上家の計は苦しく、近藤さんの身体はちよしょしれないでの、月に十五日位しか働けない

との事、自転車にリヤカーを付けて十里も二十里も遠くまで売りに行く事は健常な人でも大変な事ではないでしょうか。

また、問屋から小分けで売るので日に一百本も売れる事もあるそうですが記者が訪問した日は三十本しか売れなかつたとこぼしておられました。

「一本売る」と何円になるのですか」とおたずねしたところ、「三円です」と答えた。

近藤さんのお父さんは日清、日露の戦争で水兵として活躍し、戦後すぐホウキの製造販売を始めました。近藤さんが生

れるとまもなくお母さんは亡くなり、近藤さんも軽い脳性マヒだったのですが、関東大地震で梁の下じきになつて肩を強く打つてから障害がひどくなつてしまつたのです。

近藤さんのお父さんは十六才の時からホウキを売る事になりましたが、身体が不自由なので、利益の多い、製造販売とか、小売りはとても出来ませんし、そこで最もわりの悪い、問屋から各小売店へ売り

下車。あたりにはいくらか煙が残つてはいるがすごい速さで住宅地に變つて、いく様子が一目でわかる。

バス通りから少しはいつた所に、すゞのロジをはいつて三軒目が近藤さんの住まいである。玄関を開けるとすぐ土間の台所、そして六畳位の部屋が一間、はだか電球が一つぶらさがつている。

今年七十八才になるお父さんと二人だけの暮しはどんなに心ばかり事かとさつた。

近藤さんのお父さんは日清、日露の戦争で水兵として活躍し、戦後すぐホウキの製造販売を始めました。近藤さんが生

れるとまもなくお母さんは亡くなり、近藤さんも軽い脳性マヒだったのですが、関東大地震で梁の下じきになつて肩を強く打つてから障害がひどくなつてしまつたのです。

そうして近藤さんは十六才の時からホウキを売る事になりましたが、身体が不自由なので、利益の多い、製造販売とか、小売りはとても出来ませんし、そこで最もわりの悪い、問屋から各小売店へ売り

りたいと来る事が出来ない人が多いと思われます。しかし、どんな体であつても一人一人が力を合わせて協力する仕事を見出さなければならぬのです。

この前、山本先生が、私たちの様な体でも飛び得る夢がある、と申されたが、志たちはその夢を一人一人勇敢に青々と達成していかなければなりません。

けれども、私達は自身の力だけでは、延びられないのです。筆馬が鷹島によつてやがて立つて行く間に、私は多くの方々の御指導を受ける事によつて、伸びる力を得たるのではありませんか。そ

してそれは、一人一人の心の問題にかか

ります。そうすれば三十年五十年後には、会員部が職場を得られる様に思われます。私は、出来ないながらも少しでも私はこの職場のために努力して行きたい事を、心に決めてやまない者であります。

青い芝の会にのぞむ

君 島 稔

青い芝の皆さんが元気ですか。僕は、新年会の時の皆さんの元気な顔を思い浮べたり、春のリクリエーションに連れて行つて頂けるのを楽しみにしています。

僕は歩く事が出来ないのと、手も良く動きかないで、何か良い仕事をやりたいと何時も考へているのですが、思うよう

な仕事がないので絶望感を続けています。そして、将来は何か小さな店を持つ事が出来たらいいなと考へています。又、親のない後の事を考へると、何年先になつてもよいから青い芝の方途が助け合い作ら薦せる場所が出来たらどんなにいいかと思ひます。青い芝の皆さん、世の中の助けて頂ける方に少しづつお願いして、どうか少しも早くこの夢が実現出来るようお願い致します。

僕は考へるだけ何も出来ないで、十数年も思つていています。では、青い芝の皆さんお元気ですか。

歩く事よりはかにありませんでした、そして三十五年になる現在ではお父さんは年をとり働く事は出来ませんが近藤さんはご飯をたいたり、ふどんのあげおろしは出来ないので家事一切をお父さんが

やらなければならぬのです。その上家の計は苦しく、近藤さんの身体はちよしょしれないでの、月に十五日位しか働けない

との事、自転車にリヤカーを付けて十里も二十里も遠くまで売りに行く事は健常な人でも大変な事ではないでしょうか。

また、問屋から小分けで売るので日に一百本も売れる事もあるそうですが記者が訪問した日は三十本しか売れなかつたとこぼしておられました。

「一本売る」と何円になるのですか」とおたずねしたところ、「三円です」と答えた。

近藤さんのお父さんは日清、日露の戦争で水兵として活躍し、戦後すぐホウキの製造販売を始めました。近藤さんが生

れるとまもなくお母さんは亡くなり、近藤さんも軽い脳性マヒだったのですが、関東大地震で梁の下じきになつて肩を強く打つてから障害がひどくなつてしまつたのです。

近藤さんのお父さんは十六才の時からホウキを売る事になりましたが、身体が不自由なので、利益の多い、製造販売とか、小売りはとても出来ませんし、そこで最もわりの悪い、問屋から各小売店へ売り

りたいと来る事が出来ない人が多いと思われます。しかし、どんな体であつても一人一人が力を合わせて協力する仕事を見出さなければならぬのです。

この前、山本先生が、私たちの様な体でも飛び得る夢がある、と申されたが、志たちはその夢を一人一人勇敢に青々と達成していかなければなりません。

けれども、私達は自身の力だけでは、延びられないのです。筆馬が鷹島によつてやがて立つて行く間に、私は多くの方々の御指導を受ける事によつて、伸びる力を得たるのではありませんか。そ

してそれは、一人一人の心の問題にかか

ります。そうすれば三十年五十年後には、会員部が職場を得られる様に思われます。私は、出来ないながらも少しでも私はこの職場のために努力して行きたい事を、心に決めてやまない者であります。

青い芝の会にのぞむ

君 島 稔

青い芝の皆さんが元気ですか。僕は、新年会の時の皆さんの元気な顔を思い浮べたり、春のリクリエーションに連れて行つて頂けるのを楽しみにしています。

僕は歩く事が出来ないのと、手も良く動きかないで、何か良い仕事をやりたいと何時も考へているのですが、思うよう

な仕事がないので絶望感を続けています。そして、将来は何か小さな店を持つ事が出来たらいいなと考へています。又、親のない後の事を考へると、何年先になつてもよいから青い芝の方途が助け合い作ら薦せる場所が出来たらどんなにいいかと思ひます。青い芝の皆さん、世の中の助けて頂ける方に少しづつお願いして、どうか少しも早くこの夢が実現出来るようお願い致します。

僕は考へるだけ何も出来ないで、十数年も思つていています。では、青い芝の皆さんお元気ですか。

歩く事よりはかにありませんでした、そして三十五年になる現在ではお父さんは年をとり働く事は出来ませんが近藤さんはご飯をたいたり、ふどんのあげおろしは出来ないので家事一切をお父さんがやらなければならぬのです。その上家の計は苦しく、近藤さんの身体はちよしょしれないでの、月に十五日位しか働けないとの事、自転車にリヤカーを付けて十里も二十里も遠くまで売りに行く事は健常な人でも大変な事ではないでしょうか。

また、問屋から小分けで売るので日に一百本も売れる事もあるそうですが記者が訪問した日は三十本しか売れなかつたとこぼしておられました。

「一本売る」と何円になるのですか」とおたずねしたところ、「三円です」と答えた。

近藤さんのお父さんは日清、日露の戦争で水兵として活躍し、戦後すぐホウキの製造販売を始めました。近藤さんが生

れるとまもなくお母さんは亡くなり、近藤さんも軽い脳性マヒだったのですが、関東大地震で梁の下じきになつて肩を強く打つてから障害がひどくなつてしまつたのです。

近藤さんのお父さんは十六才の時からホウキを売る事になりましたが、身体が不自由なので、利益の多い、製造販売とか、小売りはとても出来ませんし、そこで最もわりの悪い、問屋から各小売店へ売り

りたいと来る事が出来ない人が多いと思われます。しかし、どんな体であつても一人一人が力を合わせて協力する仕事を見出さなければならぬのです。

この前、山本先生が、私たちの様な体でも飛び得る夢がある、と申されたが、志たちはその夢を一人一人勇敢に青々と達成していかなければなりません。

けれども、私達は自身の力だけでは、延びられないのです。筆馬が鷹島によつてやがて立つて行く間に、私は多くの方々の御指導を受ける事によつて、伸びる力を得たるのではありませんか。そ

してそれは、一人一人の心の問題にかか

ります。そうすれば三十年五十年後には、会員部が職場を得られる様に思われます。私は、出来ないながらも少しでも私はこの職場のために努力して行きたい事を、心に決めてやまない者であります。

青い芝の会にのぞむ

君 島 稔

青い芝の皆さんが元気ですか。僕は、新年会の時の皆さんの元気な顔を思い浮べたり、春のリクリエーションに連れて行つて頂けるのを楽しみにしています。

僕は歩く事が出来ないのと、手も良く動きかないで、何か良い仕事をやりたいと何時も考へているのですが、思うよう

な仕事がないので絶望感を続けています。そして、将来は何か小さな店を持つ事が出来たらいいなと考へています。又、親のない後の事を考へると、何年先になつてもよいから青い芝の方途が助け合い作ら薦せる場所が出来たらどんなにいいかと思ひます。青い芝の皆さん、世の中の助けて頂ける方に少しづつお願いして、どうか少しも早くこの夢が実現出来るようお願い致します。

僕は考へるだけ何も出来ないで、十数年も思つていています。では、青い芝の皆さんお元気ですか。

歩く事よりはかにありませんでした、そして三十五年になる現在ではお父さんは年をとり働く事は出来ませんが近藤さんはご飯をたいたり、ふどんのあげおろしは出来ないので家事一切をお父さんがやらなければならぬのです。その上家の計は苦しく、近藤さんの身体はちよしょしれないでの、月に十五日位しか働けないとの事、自転車にリヤカーを付けて十里も二十里も遠くまで売りに行く事は健常な人でも大変な事ではないでしょうか。

また、問屋から小分けで売るので日に一百本も売れる事もあるそうですが記者が訪問した日は三十本しか売れなかつたとこぼしておられました。

「一本売る」と何円になるのですか」とおたずねしたところ、「三円です」と答えた。

近藤さんのお父さんは日清、日露の戦争で水兵として活躍し、戦後すぐホウキの製造販売を始めました。近藤さんが生

れるとまもなくお母さんは亡くなり、近藤さんも軽い脳性マヒだったのですが、関東大地震で梁の下じきになつて肩を強く打つてから障害がひどくなつてしまつたのです。

近藤さんのお父さんは十六才の時からホウキを売る事になりましたが、身体が不自由なので、利益の多い、製造販売とか、小売りはとても出来ませんし、そこで最もわりの悪い、問屋から各小売店へ売り

りたいと来る事が出来ない人が多いと思われます。しかし、どんな体であつても一人一人が力を合わせて協力する仕事を見出さなければならぬのです。

この前、山本先生が、私たちの様な体でも飛び得る夢がある、と申されたが、志たちはその夢を一人一人勇敢に青々と達成していかなければなりません。

けれども、私達は自身の力だけでは、延びられないのです。筆馬が鷹島によつてやがて立つて行く間に、私は多くの方々の御指導を受ける事によつて、伸びる力を得たるのではありませんか。そ

してそれは、一人一人の心の問題にかか

ります。そうすれば三十年五十年後には、会員部が職場を得られる様に思われます。私は、出来ないながらも少しでも私はこの職場のために努力して行きたい事を、心に決めてやまない者であります。

青い芝の会にのぞむ

君 島 稔

歩く事よりはかにありませんでした、そして三十五年になる現在ではお父さんは年をとり働く事は出来ませんが近藤さんはご飯をたいたり、ふどんのあげおろしは出来ないので家事一切をお父さんがやらなければならぬのです。その上家の計は苦しく、近藤さんの身体はちよしょしれないでの、月に十五日位しか働けないとの事、自転車にリヤカーを付けて十里も二十里も遠くまで売りに行く事は健常な人でも大変な事ではないでしょうか。

また、問屋から小分けで売るので日に一百本も売れる事もあるそうですが記者が訪問した日は三十本しか売れなかつたとこぼしておられました。

「一本売る」と何円になるのですか」とおたずねしたところ、「三円です」と答えた。

近藤さんのお父さんは日清、日露の戦争で水兵として活躍し、戦後すぐホウキの製造販売を始めました。近藤さんが生

れるとまもなくお母さんは亡くなり、近藤さんも軽い脳性マヒだったのですが、関東大地震で梁の下じきになつて肩を強く打つてから障害がひどくなつてしまつたのです。

近藤さんのお父さんは十六才の時からホウキを売る事になりましたが、身体が不自由なので、利益の多い、製造販売とか、小売りはとても出来ませんし、そこで最もわりの悪い、問屋から各小売店へ売り

りたいと来る事が出来ない人が多いと思われます。しかし、どんな体であつても一人一人が力を合わせて協力する仕事を見出さなければならぬのです。

この前、山本先生が、私たちの様な体でも飛び得る夢がある、と申されたが、志たちはその夢を一人一人勇敢に青々と達成していかなければなりません。

けれども、私達は自身の力だけでは、延びられないのです。筆馬が鷹島によつてやがて立つて行く間に、私は多くの方々の御指導を受ける事によつて、伸びる力を得たるのではありませんか。そ

してそれは、一人一人の心の問題にかか

ります。そうすれば三十年五十年後には、会員部が職場を得られる様に思われます。私は、出来ないながらも少しでも私はこの職場のために努力して行きたい事を、心に決めてやまない者であります。

青い芝の会にのぞむ

君 島 稔

歩く事よりはかにありませんでした、そして三十五年になる現在ではお父さんは年をとり働く事は出来ませんが近藤さんはご飯をたいたり、ふどんのあげおろしは出来ないので家事一切をお父さんがやらなければならぬのです。その上家の計は苦しく、近藤さんの身体はちよしょしれないでの、月に十五日位しか働けないとの事、自転車にリヤカーを付けて十里も二十里も遠くまで売りに行く事は健常な人でも大変な事ではないでしょうか。

また、問屋から小分けで売るので日に一百本も売れる事もあるそうですが記者が訪問した日は三十本しか売れなかつたとこぼしておられました。

「一本売る」と何円になるのですか」とおたずねしたところ、「三円です」と答えた。

近藤さんのお父さんは日清、日露の戦争で水兵として活躍し、戦後すぐホウキの製造販売を始めました。近藤さんが生

れるとまもなくお母さんは亡くなり、近藤さんも軽い脳性マヒだったのですが、関東大地震で梁の下じきになつて肩を強く打つてから障害がひどくなつてしまつたのです。

近藤さんのお父さんは十六才の時からホウキを売る事になりましたが、身体が不自由なので、利益の多い、製造販売とか、小売りはとても出来ませんし、そこで最もわりの悪い、問屋から各小売店へ売り

りたいと来る事が出来ない人が多いと思われます。しかし、どんな体であつても一人一人が力を合わせて協力する仕事を見出さなければならぬのです。

この前、山本先生が、私たちの様な体でも飛び得る夢がある、と申されたが、志たちはその夢を一人一人勇敢に青々と達成していかなければなりません。

けれども、私達は自身の力だけでは、延びられないのです。筆馬が鷹島によつてやがて立つて行く間に、私は多くの方々の御指導を受ける事によつて、伸びる力を得たるのではありませんか。そ

してそれは、一人一人の心の問題にかか

ります。そうすれば三十年五十年後には、会員部が職場を得られる様に思われます。私は、出来ないながらも少しでも私はこの職場のために努力して行きたい事を、心に決めてやまない者であります。

青い芝の会にのぞむ

君 島 稔

◆……城南支部だより

中曾根

一月十七日城南、城北両支部合同新年会を世田谷の青い芝の塾で催した。名うつしるこバー・ティー、さぞ野郎の集りが悪しからうと心配したが、来るわ来るわ男ばかり、女性はたつたの六人、全部で十七人程の入り。さる女性からの注進でお酒の方も一本だけ合わせ、二本立のバー・ティー。例によつて定刻より遅れて城南支部長の司会で自己紹介、「今、自分の思つてること」等をして「すること」を食べながら聞いたり、聞かせたり、会たけなわなる頃、司会者は鍋の近くにいたので「する」との洗礼を受けて一丁羅の段を大なしにする一幕もあつた。四ハイもお代りを喰つた男のいわく「だから、『する』こと、バー・ティーなんかやだと云つたのに」だつて。居候四ハイ目にグット出しといふ逆句で二本立バー・ティーを切りあげ、そのあとトランプやカルタ遊びをして、四時頃やつとお開き。

◆……中央支部だより

山口 豊

昨年十月の才一回都中央支部例会で支部長に推され、約半年たちました。その間、十一月の本部役員改選には当支部より、支部会計の戸次氏が本部役員の更

の西でも三回の例会、家庭訪問の教化、毎校先生を貢献して各種福祉団体への働きかけ等々を行い、または行いつゝあります。それで当支部にクリスマスチャレンジの方が多いことから、翌年定期会を開くなど例会への招待、あるいは会員で聞くなど常に支部長会議長を出している支部の自らの役員との友好についても、覚と責任感の元に活動し、前進してまいりました。これもひとえに各支部員諸君の理解と、有形無形の御援助のおかげだと思います。

その他の、会員との友好についても、例会への招待、あるいは会員で聞くなど常に支部長会議長を出している支部の自らの役員との友好についても、覚と責任感の元に活動し、前進してまいりました。これもひとえに各支部員諸君の理解と、有形無形の御援助のおかげだと思います。

永らく御お詫び致しまして本当に申し訳なく存じます。どうぞお許し下さいませ。九州へ参りまして一年四ヶ月、漸く新しい土地にも慣れてきましたが南の国でも大変寒く霜も相当下り、水もはつて寒いことはどこの冬でも交りがないようになります。度々お便りや会報等を送つていただき大変うれしく思いましたが、お返事をおつくり色々なことをお便りしましようと思つてお来るのを待つておりましたけれども日が

生部長に推されました。又、才一回支部長会議で「青い芝の塾」会則に基いて、支部役員会内規作成の大定が与りました

ので、支部会員の花田政國氏に支部役員会内規草案（八章七十七条）の作成を依頼し、それに基いて十二月二十三日に支部役員会（支部長山口氏、副支部長沢田氏会計戸次氏）を開き、中央支部内規を決定致しました。

今年に入り、一月十七日に正月の新年会を城西支部との合同で、君島氏宅にて開きました。当日は中央支部会員も六名出席して、城西支部会員と共に種々のゲームにうちきよじ楽しい半日を過しました。

今後は本部の決定事項に従つて、支部員相互の連絡と福祉をはかつて行きたくと思つています。特に、戸次更生部長を中心として、何か生産的な仕事をやりたいと思つています。

今後は本部の決定事項に従つて、支部員相互の連絡と福祉をはかつて行きたくと思つています。特に、戸次更生部長を中心として、何か生産的な仕事をやりたいと思つています。

◆……城西支部だより

石橋玲二

1960.1.17日、我々の城西支部では、新年会を中央支部と合同で君島君の家をお借りして行いました。

当日の東京は、まつたくの冬晴。新宿からバスの前面には、秩父の山々の上に富士がまつ白い姿を浮べ、七十ミリ映画のよな景観が広がっていました。

さて、会場についてみて驚きました。かたくおことわりしておいたのに、お家の方々の御好意からすつかり仕度が出来、その上御チソウが山の様。

これには感激するやら、ありがたいやうなつても一人も来ないあります。役員達はたゞうらうらおろおろ、田村君など

やないと、しみじみ思いました。

強い風の中を汗を流しながら歩いています。年に、戸次更生部長と一緒にうちきよじ楽しい半日を過しました。

ところがもどつてみて、またびっくり、部屋は二十人にも及ぶ人々でぎつしり。

一方、集る諸君はのん気なもの、時間になつても一人も来ないあります。役員達はたゞうらうらおろおろ、田村君など

やないと、しみじみ思いました。

強い風の中を汗を流しながら歩いています。年に、戸次更生部長と一緒にうちきよじ楽しい半日を過しました。

私の好きな事

奥野洋子

「私の好きな事」という題で書こうと思つても、何をどう書いていいか迷つてしまします。というのは、好きな事は数多くあるからです。まづ、音楽を聞く事と歌う事が好きで、毎日暇さえあれば自然と歌を口ずさんでいる程です。聞く方はクラシックですが、ラジオの朝の音樂放送は毎日かさず聞き他の時間の放送もよく聞いています。こんな時、私は現実の自分や、悲しい苦しい事も忘れて音楽の調べの中に溶け込み、空想の世界へ引込まれ楽しい気持になります。こんな点で同じ読書をする事も好きです。読書していると、自分の運命を現実の世界へ置き忘れ、その書物中へ入つてその主人公と共に一喜一憂する時何とも云えない気持で、また読書する事は人間のある面で向上させる上にも有意義な点で……それから何も考えないという点で、寝る事も私は好きです。

まだ色々ありますが、「私の好きな事」に徹する一つの事は、現実の自分や世間に離れた事から脱れられる事が出来、楽しい、理想の世界へ引込まれ得る事と云うことができます。

(筆者の住所は
熊本県八代市出町 三三三)

世田谷塾の日々
☆ ☆ ☆ クリスマス子供会
☆ ☆ ☆

昨年十二月十三日、塾のクリスマス子供会が都立光明養護学校講堂で行なわれた。

当日は天候に恵まれ、塾生十五名と付添の父母、賛助会員など四、五十名が集つた。会の始まる二時間も前から、舞台装置に振り付けにと先生も生徒もお母様方も大活躍。何しろ先生方も生徒に勝るとも劣らない重度CP、何をするにも大変な努力。こうして一部の幕が上がるとき山本玲子ちゃんが塾生を代表して挨拶、がこれはあらかじめテープレコーダーに吹込んであるので、玲子ちゃんはイスに腰掛けてキヨロキヨロそれがとてもかわい。統いて内山利明君が小学一年国語を朗読、利明君は塾に来るまで本を読めてとても上手に読めるようになりました。次に塾生総出演の劇「浦島太郎」。塾はこれに相当力を入れただけあって、演出も細く良くできている。テープに吹込んだ和田先生のお話に合せてペントマイム、どことなくお能に似ている。最後に玉手箱から「これでおわり」と書いた紙ティプが出て来て幕となる。この後生徒紹介が行なわれ、十分間休憩。大人の方をきこまして」。支部例会では

左記の方々より御寄附を頂きました。

草島時介様 大根久子様

土谷二三様 柳沢小松様

竜野自由児様 千葉県身障者の会様

田園調布協会様

その他会員諸氏より

千葉県身障者大会に招かれて

成人の日、我々二人(石橋、戸次)は

青い芝の代表として、かねて御招待され

た八日市場へ向つた。千葉県内の障害者

の新年会へである。

「まったくひどい汽車だなこれは」

「そう云うなよ、家の田舎を通るんだぜ

「へえ、お宅の田舎はこんな方だったの、

ところでミシンの方は……」

「今日はPRはよしにしてくれよ……

……ほらあの山の上がお城の跡なんだ

東京から八日市場へ着くまでの二時間

二十分、ミシンの御講義に記者はいさゝ

かげんなり。所が会場はなんと洋裁学校

「これはこれは、どうも君の商売向きになつて来たな……」

「シマつた、パンフレットをもつと持つて来るんだつた……」

かなり広い会場には二三十人の人達が

集り、ロシャヤ民謡の合唱の中に開会。ようやく落着いて見渡すと、CPは○に近いあります。とたんに心細くなる。島国性ですよ、これは。そんな気持はぬきにして、会のプログラムはどんどん進行。

自己紹介のあと千葉県のえらしい人たちのあいさつ、こういう人の云うことは皆おんなじです。なまつたく。やつと終つてはつとしたら体験談をとのこと。向こうの隅にいた青い芝の会員である高垣君が

立つて、自分の歩んで来た道を「やま。そこまでは良かったが、何を思ったか彼

「青い芝は金持ばかりでお遊び程度などと、青い芝の攻撃をやり出した。

今まで黙つて、お客様のよう軽い気持ちでいた我々も何か云わねばならないしまつ。まず石橋が立つて、青い芝がしゃ金持の集りでない事、それに関連して施設の必要性、編物、あけび等の授産、塾の仕事を説明。そのうち、女性の人達の中にハンカチを目当てた方も出て来た事に、まずは代表としての役わりを無事につとめ上げた事に一安心、バトンを戸次君に渡す。戸次君は更生部長の立場から、これからも更生計画を細く話す。それからこそもごも雑談の中に、またロシヤ民謡の合唱を最後にして、もう闇につけられませんから」とのお答え。毎回テレビにかじりついているという〇子

「こういう機会で△もないと仲々連れて行つてやれませんから」とのお答え。毎回テレビにかじりついているといふ〇子

「こちやんに、『誰が好き』と聞いてみると『ワカチチブ』となかなか渋い返答。

私が、あきるのではないかといふ懸念があり。券が足りなくて、どうしても一諸に行けなかつた子供達が三、四人、これらも解消。餅におさまつて、初切に土表入

におすもうさんの実物の大きさを堪能。

おまけに、酒悦さんからのお土産物に、

疲れてしまつたお母様の夕飯作りが大助かり。券が足りなくて、どうしても一諸に行けなかつた子供達が三、四人、これらもまゝある事、何とか方法を考えまし

ょう。

(高山記)

I 記

希望者一人もなし。しめたつ、子供達に社会の勉強がさせられる。喜ぶのはまだ早い。ますお母様方の御意見をうかゞう、子さんのヴァイオリン独奏など、生徒達を喜ばせようと熱演が続きこの上ないクリスマスプレゼントになつた。

会終了後四、五名の父兄の方に感想を伺つてみると「大変楽しい会でした。特に皆が舞台に出られた事は子供達に自信をつけたと思う。このような会を度々行なつてほしい、たゞ準備にもう少し日時をかけければもつと良かつたのではないか」と思う」と話された。

また和田光司先生は「皆様のおかいでこのような催しができて本当に嬉しい。たゞ、これらの子供達がどんなに教育を必要としているか、恵まれていないかを見ておられる先生方は通知したが、一人も出席されなかつたのは残念でした」と話していた。

広報部 K.T記

賛助会員との話合

一月十六日と二月二十日の二回に亘り、始めての試みとして賛助会員と会についての話し合いをもつた。即ち一月は世田谷塾に於いて行い(本部役員と各支部長が出席)、我々の問題について話し合い、後援会がほしいと希望が述べられ、更に二月には銀座の教文館ビルで開き(本部役員のみ出席)後援会の問題を中心に話し合つたが、会に具体案がなくてはまずいということで設立する迄に至らず散会した。

「しののめ」

四十号を発行

—身障者の同人雑誌—

「しののめ」は脳性マヒ、脊柱性小児マヒ、カリエス、切断等による身体障害者が各自自由な態度で文芸創作、詩、俳句、短歌、評論等を発表し、それ等を通じて常に我々身障者の直面している問題を探究し、社会の理解を求める苦腦とその実状、そしてその福祉政策の向上を世に訴えている同人総合雑誌です。

「しののめ」は、戦争直後小数の人たちが回覧雑誌として始めたのですが、その後、田中澄江女史、鈴木信太郎画伯その他多くの社会的地位にいられる方々の声援を得、又、同人会員も増加の一途をたどり、B5百二、三十頁のものを年四回発行するまでになり、こゝにまでたく四十号を発行する事になつたのです。この四十号は記念特集として「しののめ」の歴史、同人会員のプロフィールを掲載すると共に、年金や重度障害者の収容施設の問題を取り上る等、一人でも多くの人に読んで頂くための編集をしました。

尚、譲読ご希望の方は手賃百円をぞえて左記へお申込み下さい。
東京都港区麻布本村町十四 花田政国



天皇皇后両陛下も御出で

身障者手工芸品展

先号でお知らせしたように、四月二六日から五月一日まで日本橋三越で、身障者手工芸品展示即売会が催されたが、同会場へ、初日一般公開のされる前に、天皇、皇后両陛下、並びに宮様方がお出になり、約一時間にわたって熱心に手工芸品や身障者の福祉行政に関する資料などをこちらになつた。この展示即売会には連日かなりの人が入ったようであった。なお、この展示会に三十点ほどの物を「青い芝の会」からも出品したが、本会としてこの催しに参加したのは初めてのこととて、何事も不慣れなため、予期した成果は上げられなかつた。

発行所	
大田区雪ヶ谷七五二 青い芝の会 (山北方)	
印 刷 所	
大田区調布嶺町二丁目三一	オール事務器
編集責任者	田 村 公 一

『家庭でもできる

脳性マヒ児教育の手助け

本会で翻訳発行

一昨年、アメリカのC.P.たちの教育・職業・生活状態などをたずねる手紙をアメリカ大使へ出したところ、既に承認のよう、C.P.の職能評定に関する映画・フィルムやその他各種の資料が送られてきたが、その中の一つにニューヨーク州教育局から出版された「脳性マヒ児童に対する教育の手助け」という本があつた。これを見て本会では、もしこれをほん訳發行できたら、近年増加しつゝあるわが國脳性マヒ児の教育に少なからず役立つと思ふ、同書のはん訳許可を頼つたところ心良く承諾されたので、この度、本会と「青い芝・親の会」の共同出資により右の本を発行したのである。

この本は、アメリカのC.P.児の教育にたずさわっている多くの教師が、実際の経験に基づいて、かなり重複のC.P.児にも「こうすれば学習させる事が出来る」

という種々のアイデアを抽出したもので、ニントン博士が医学的及び教育的立場から、注意深く編集したものであつて、読み書き算数等の学習と並行して手の訓練による教具や色々の考案が沢山盛つてあります、それらは家庭でも容易に応用できるものばかりである。

この本のほん訳には、正会員の寺田純一君、及び、本会親の会の山北氏があり、また、その印刷は、本会のこの会報をいつも印刷してもらつてゐるオール事務器さんが、機械的な安い値で引き受けた。なお、本書に対し

文部省初等中等教育局特殊教育室主任官吏が、その中の一つにニューヨーク州教育局から出版された「脳性マヒ児童に対する教育の手助け」という本があつた。これを見て本会では、もしこれをほん訳發行できたら、近年増加しつゝあるわが國脳性マヒ児の教育に少なからず役立つと思ふ、同書のはん訳許可を頼つたところ心良く承諾されたので、この度、本会と「青い芝・親の会」の共同出資により

この「家庭でもできる・脳性マヒ児教育の手助け」をお求めになりたい方は、頒価一冊一〇〇円(送料一六円)を添えて本会事務所へお申し越し下さい。但し

厚生部おしらせ

「青い芝」からも出品

身障者作品展示即売会へ

四月中旬発行予定

「しののめ」は脳性マヒ、脊柱性小児マヒ、カリエス、切断等による身体障害者が各自自由な態度で文芸創作、詩、俳句、短歌、評論等を発表し、それ等を通して常に我々身障者の直面している問題を探究し、社会の理解を求める苦腦とその実状、そしてその福祉政策の向上を世に訴えている同人総合雑誌です。

洋裁の仕事を面倒みていたゞくことになりましたので、洋裁のできる人、及びこれから習いたい人はふるつて御参加下さい。

尚、資金及び教育費用は新藤さんと直接ご面談の上決定していただきます。

新藤夫美江さんの住所は東京都新宿区淀橋六五八

電話(三六八)三三九一

会員消息

岡本吉司君

いつも会のトウ写印刷をしてくれているが、この度その技術をみがくために中央賛写学院に入られた。

佐久間恵子君

東洋大学文学部へめでたく入学された。

日本編物協会で先生の資格を得られた。

尾堀元英君

佐久間恵子君

酒井 仁君

今まで都下立町の身心障害者施設で土学園にいられたが、今度、世田谷区上野毛二二〇 大東学園病院に移られた。

会員の皆さんもお誘い合せなどしてご来場下さい。

編集後記

△今月号は特集をしましたが、あまり原稿が集まらなかつたことを残念に思いました。しかしその為お寄せ下さつたものは全て載せることが出来ました。「特集理由」にも書いた通り、これからもどしどしあ寄せ下さい。

▽三月の役員会で、あまりにも会長の仕事が多いことが問題とされ、これからは副会長が出来る限り代理をつとめることになりました。

K・T記

▽二周年記念大会での決議文を見たある人が「小児病的決議文」と評した。

A・Y記

この「家庭でもできる・脳性マヒ児教育の手助け」から夫々ご推せんの言葉を頂いた。伊藤京逸先生